

仲間と共に知財の枠を超えたイノベーションを起こし、共に成長するライセンス委員会！

ライセンス第1委員会 委員長

竹森 久美子 氏

(所属：ユキグニファクトリー株式会社)



interview

自己紹介

事業会社にてM&Aや事業再編を含む法務業務、新規事業支援業務等に従事、M&Aコンサルティングファームでの戦略コンサルタント業務を経て、現職。法務、知財およびコンプライアンス業務に従事。途中ブランクありますが、ライセンス委員会には2011年から所属。趣味は山奥の温泉巡りとトレッキング。pH1.13の強酸性からアルカリ性までこよなく愛しています。

Q 研究テーマとそれらを選んだ背景・理由は？

ライセンス委員会では伝統的なライセンス契約マニュアルや産学連携などのテーマからAIやグリーンテクノロジー、イノベーションボックス税制といった話題となっているホットなテーマまで幅広くとり上げて調査研究をしています。テーマは前年度に委員にアンケートを行ってなるべく希望を入れる形で広めのテーマを選定、割り振られたテーマから小委員会にて主体的に関心のあることにフォーカスして調査研究を進めています。ライセンス委員会は第1委員会と第2委員会とで一体運営していますので、合同委員会（年4回開催、内1回は合宿形式）で両方の委員会のテーマの調査研究内容を知ることができ、ディスカッションに参加できたりします。2025年度は各委員会3テーマ、計6テーマの調査研究をしています。目線は会員企業の実務に役立つ情報の共有や課題の解決策の提案などを目指していて、アウトプットは知財管理誌の論説や東西部会発表、2025年度は独自シンポジウムなどの形式をとっています。

Q 委員会の特長／魅力は？

渉外業務に携わっている方が多く、渉外の経験の少ない方は勿論、経験者もコミュニケーション力、交渉力に磨きをかけることができるのが大きな特長だと思います。ポジティブな方が多く、和気あいあいとしていて、一方で調査研究は深掘りしてアウトプットにもこだわり、外部の専門家（学者、弁護士、税理士、知財コンサルタントなど）、他の委員会などと積極的に意見交換しています。また、JIPA内や特許庁にて研修講師も行っています。ライセンス委員会では専門性を高めつつ、JIPA内外にネットワークを広めて楽しく活動することができると思います。

Q 委員会としてのこだわりは？

専門性と人間力（コミュニケーション能力、課題解決能力、チームワーク力、主体性やリーダーシップ）をお互い高めあい、成長することを意識しています。2025年度はライセンス委員会独自シンポジウムを企画し、積極的に内外に意見発信していくなど新しいことにチャレンジしています。また、ライセンス委員会にて新しいことに挑み乗り越え、お互いに成長することを意識した活動を通じて信頼関係が構築され、一生の宝となる友も見つけることができるのではないのでしょうか。私自身、2014年度の小委員会のメンバーと10年以上経ちますが、今でも仲良くさせていただいています。

さあ、そのワクワクしてきたあなた、ライセンス委員会に集ってみませんか？

以上